

# 取組事例の紹介

## 1 取組の主要テーマ

すべてのライフステージで情熱を持って働くことができる職場づくり

## 2 医療機関の属性

病 院 名 医療法人社団善仁会 小山記念病院

所 在 地 茨城県鹿嶋市厨 5-1-2

病 床 数 一般病棟 194 床 地域包括ケア病棟 30 床

入院基本料 7 : 1

職 員 数 628 名

## 3 取組課題

地域の充実を図り、地域の人々に愛される病院になる

## 4 取組内容

### ◇女性活躍推進

- ・ライフステージに合わせた短時間勤務制度やフレックスタイム制度の柔軟な勤務体制の導入
- ・女性職員乳がん検診無料
- ・男女差のない人事評価、役職者登用、昇進
- ・キャリアアップ支援制度  
(学会、勉強会等への参加費用の全額補助、認定資格取得にかかる費用補助)

### ◇WLB推進

- ・有給休暇取得の推進
- ・インフルエンザ休暇の導入 (2 日)
- ・リフレッシュ休暇の導入  
(常勤 3 年目以内 3 日、4 年目以降 7 日、短時間勤務者 4 年目以降 3 日)
- ・人間ドッグ、脳ドッグ、肺ドック等の健康診断の割引制度 (職員の家族も含む)
- ・職員医療費減免制度 (保険診療分返金)
- ・院内メンタルヘルス相談窓口設置  
(毎週火曜日にカウンセラーの先生が来院。待機中はいつでも面談可能)

### ◇子育て支援

- ・男性職員の育児休業取得の推進
- ・事業所内保育所での学童保育  
(小学校まで事業所内保育所の保育士が無料でタクシー送迎、夜勤対応の 24 時間預かり保育の実施)

- ・復帰職員や子育て中の職員との面談を実施
- ・情報提供のため休業中職員に月2回の連絡会議資料を送付

## 5 取組のきっかけ、取組前の問題点

看護職のWLBワークショップ参加にあたりWLB推進メンバー会議を立ち上げ、3年計画で業務改善をしていくこととなった。取組前の問題であった、時間外労働時間の削減、事業所内保育所の有効活用、休暇制度の見直し等を行うとともに、職員の意識改革にも取組んだ

## 6 取組の体制・中心人物

看護部長を中心としたWLB推進メンバー18名（事務部、看護部各部署、診療技術部各部署の代表者）から始まり、現在は病院の事業計画の骨子として働き方改革を掲げ、院長の指示によりWLB推進メンバーに担当副院長も加わり、より組織的に取組んでいる

## 7 取組の概要

- ◇女性活躍推進
- ◇WLB推進
- ◇子育て支援

## 8 実施後の成果や見えてきた課題

- ◇女性活躍推進
  - ・主任補佐以上の役職者の女性割合は約50%である。
- ◇ワークライフバランス推進
  - ・有給休暇取得率のアップ（2016年度63.9%、2017年度76.2%  
前年比119.2%）
  - ・リフレッシュ休暇取得率アップ（2016年度86.7% 2017年度92.4%  
前年比106.5%）
- ◇子育て支援
  - ・2017年度 男性職員の育児休業取得者1名  
（2018年度 男性職員の育児休業取得予定3名）
  - ・育児休業取得率100%を維持
- ◇その他
  - ・平成28年11月 茨城県女性が輝く優良企業2つ星認定、平成29年度 茨城県仕事と子育て両立支援部門の優秀賞をいただいたことが励みになっており、その名にふさわしい職場づくりを継続している。
  - ・看護部だけではなく病院全体として取り組んだことから、ワークライフバランス会議にて各部署の問題点を吸い上げることができ、業務改善に向けての課題・成果を共有することができた。今後も継続した業務改善、公平で適切な評価と目標管理、人員確保の取組みを進めていく。